

布津町 活き・生きふるさとふつまつり

平成18年11月18日(土)布津多目的集会施設「世紀の泉」で、第13回 活き・生きふるさとふつまつりが開催され、会場には荒天にも関わらず多くの来場者が訪れました。

餅まきで始まったステージイベントは、布津中学校吹奏楽部の演奏や町内各小学生による元気いっぱいの踊りなど披露。なかでも保育(幼稚)園児によるかわいらしい演技では、保護者の心配そうに見守る顔やおじいちゃんおばあちゃんのニコニコ顔で会場はいっぱいになりました。

また、今回はじめて『^{やぐらどうつき}櫓土搗き』が布津地区老人クラブが主体となった保存会の皆さんにより披露されました。これはその昔、家を建てる際、唄を歌いながら綱を引きあげ、丸太を搗き落として基礎固めを行ったもので、今回は、それをモチーフにした地域に残る伝統行事を継承するために行われました。



飯野小学校



布津中学校



布津小学校

こんぴら祭り

平成18年11月26日(日)には『こんぴら祭り』も行われ、長崎魚市直送天然魚の特価販売や、無双太鼓の演奏、カラオケなども催されました。(こんぴら饅頭、とてもおいしそうでした。)



▲おなじみ無双太鼓



▲ALTのグリム・コンセッタ先生も参加



▲さぁ食べるよー



▲エイサーッ!



▲「櫓土搗き」のようす



▲とびます・とびます

加津佐町 夢・手づくりふれあい祭り

平成18年11月25日(土)・26日(日)加津佐町岩戸グラウンドで、第15回 夢・手づくりふれあい祭りが開催され、2日間にわたり様々なイベントが催されました。

祭りはまず、夢みこしや子どもみこしが、加津佐中学校プラスバンド部、婦人会の道中踊りとともに、市長をはじめとする市民の代表者の参加をえて市役所加津佐総合支所から本岩戸の会場まで商店街をパレードして開始。

初日は絶好の天候に恵まれ、早朝から会場にはたくさんの来場者があり、オープニングセレモニーでの紅白もちまきでは、広い会場にもかかわらず「おしくらまんじゅう」の状態に。その後のステージでは、保育園や幼稚園の子ども達によるかわいらしい演技が祭りを盛り上げました。

また、隣接する特産品テントでは、ミカンやジャガイモの全国発送のコーナー、地元農海産物の販売店などがぎっしり。お買い得品が多いこともあって、売れ行きも好調のようでした。2日目はぱらつく雨で肌寒い天候となりましたが、人気のヒーロー・ショーでは元気な子ども達が傘なんておかないし!? で応援。雲仙市南串山町出身の歌手、花季みわさんの歌謡ショーも行われました。



▲祭りのスタート!



▲せーのっ!



▲きれいに揃ってます



▲本格的ですね



▲キマってます



▲加津佐中学校プラスバンド部のみなさん



▲つれた つれたー

